



沖縄県酒造組合、 泡盛の女王表敬訪問

6月26日、2025年度泡盛の女王の3名及び沖縄県酒造組合の譜久村意次専務理事が、沖縄総合事務局を表敬訪問されました。

泡盛の女王は、琉球泡盛の振興を目的として泡盛のPR活動や親善交流を担う泡盛の親善大使です。お三方からは、「海外での居住経験や泡盛を含む日本の伝統的酒造りのユネスコ無形文化遺産登録を活かし、琉球泡盛の海外展開への一層の取組や、訪日外国人旅行者にも琉球泡盛をPRする取組を行っていただきたい。また、糖質ゼロで低カロリーなど、琉球泡盛の健康面での利点を活かしたPRも増やしていく。」など、今後の抱負について語っていただきました。

難波次長（当時）からも、「7月から新メンバーでの活動が始まるこのことで、ご活躍を期待している。沖縄総合事務局としても、引き続き協力しながら泡盛の振興を共に進めていきたい。」との発言があり、終始和やかな雰囲気の中での歓談となりました。



泡盛の女王、組合専務理事と次長との懇談の様子



左から、譜久村専務理事、渡久地さゆりさん、稲嶺真理菜さん、難波次長、宮下智美さん

お問合せ先
総務部 企画調整課
☎098-866-0047



すべての子どもたちが 安全で安心に過ごせる 地域社会づくりを目指して

夏休みを前にした7月10日、青少年の健全育成及び非行防止を目的に、



関係者集合写真

沖縄県社会教育関係団体等連絡会及び（公社）沖縄県青少年育成県民会議が主催する「沖縄の青少年を健やかに育てる県民大会 共同アピール2025」が開催されました。

共同アピールでは、名護市立大宮小学校6年生8名のほか、大久保碧さん（琉球大学）、嘉数順子さん（社会教育指導員連絡協議会）から、ポスターの制作理由などの発表があり



ポスター作品紹介

大会アピール文

- 「夜型社会」の改善に向けて、「大人が変われば子どもも変わる運動」を展開しよう。
- 非行や犯罪につながる二十歳未満の飲酒・喫煙・薬物乱用の防止に向けて取り組もう。
- 子ども・若者が地域活動や行事へ参画することで、社会的な成長が果たせるよう、積極的に社会参加を促そう。
- 18歳未満の子どものスマホ・タブレット使用の際のフィルタリングの設定を徹底しよう。
- SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の利用について、個人情報保護、ツールの扱い方、個人情報流出による被害などについて、親子で話し合いのうえ、各家庭のルールを作ろう。

ました。続いて、大会アピール文が参加者全員による読み上げで確認されました。

沖縄総合事務局は、20歳未満の喫煙防止等に向け、関係団体と連携して取り組んでいきます。

お問合せ先
財務部 理財課
☎098-866-0092